

講演

新機軸ダイバーシティを歯科界へ

住友 雅人

●抄録●

ダイバーシティを多様性と直訳すると「さまざまやいろいろな人種」と言う一般的な意味合いにとどまってしまうが、この「多様性」は今日、人種だけではなく個々の民族として尊重され、同時に他の民族を尊重するという幅の広い概念において広がっている。すなわち単に人種の集合体ではなく、民族が有するそれぞれの感性、知恵、技などを出し合っ
て暮らして行こうというふうにとらえられる。さらにいえば、民族固有の文化を尊重するだけでなく、融合することによって新たな文化を創生していこうとも考えられる。今話題となっているSDGs（持続可能な開発目標）はその具体的な方向を示したものと言える。そのためには動植物などの生物、その生きる環境、あらゆる自然現象や宇宙空間を含めて考えることになる。地球の生き残りをかけての一大プロジェクトである。

改めて歯科の世界を見てみると他分野との連携が進んではいるが、多様性をより進めるには360度を見渡す視野と理解、そして思いもよらない逆転の発想が必要ではないかとの想いに至っている。

キーワード：ダイバーシティ、SDGs（持続可能な開発目標）、逆転の発想、歯科イノベーション

I. はじめに

アマチュア無線を道楽とする私には、最近、よく耳にする「ダイバーシティ」という言葉の響きは懐かしい。他局よりも電波信号を安定してよく聞こえるようにするために、複数のアンテナを指向性、偏波面、高さ（打ち上げ角度）を考慮して切り替えたり、時にはまとめてつないだりした経験がある。この通信技術が「ダイバーシティ」といわれるものであった。

ダイバーシティを多様性と直訳すると「さまざまやいろいろな人種」と言う一般的な意味合いにとどま

ってしまうが、この「多様性」は今日、人種だけではなく個々の民族として尊重され、同時に他の民族を尊重するという幅の広い概念において広がっている。すなわち単に人種の集合体ではなく、民族が有するそれぞれの感性、知恵、技などを出し合っ
て暮らして行こうというふうにとらえられる。さらにいえば、民族固有の文化を尊重するだけでなく、融合することによって新たな文化を創生していこうとも考えられる。

今話題となっているSDGsはその具体的な方向を示したものと言える。そのためには動植物などの生物、その生きる環境、あらゆる自然現象や宇宙空間を含めて考えることになる。地球の生き残りをかけての一大プロジェクトである。

II. オープンイノベーションという新機軸

日刊工業新聞社の松木喬氏は『あらゆる主体とのパートナーシップによって思いもよらなかったアイデアが生まれ、イノベーションが加速する。課題解決の力が増幅される。ともに考え、ともに取り組む「協



※冬期学会講師

(すみとも・まさひと)
日本歯科医学会 会長

創」が、誰ひとり取り残さないサステナブルな社会づくりの原動力となる。それを実現するためには長期的な視点も不可欠だ。』、そして『オープンイノベーションによって課題解決に向けて着実に実現していく企業姿勢が問われている。』とも述べている¹⁾。

昨年(2019年)はラグビーワールドカップ2019をはじめとして、このダイバーシティ(多様性)について多くの場面で感じさせられることがあった。2021年は東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催で一段と多様性を感じる年になるであろう。わが国では次の話が参考になる。過日、荒井正吾奈良県知事から大変に興味深いお話を聞く機会があった。『奈良に都ができる前から、大陸などから多くの高僧や高い技術を持っている人たちが渡来し、当時の大和人に仏教の伝道と技術の伝授を行い、そのうちに現地社会に溶け込み、日本人として暮らしているうちに奈良文化が出来上がってきた。その意味でもこの地は「多様性」でできたところですよ』という話だった。

日本の長い歴史の中でも、発祥は海外であったものが日本の風土に溶け込み一つの新しい文化として形作られ、今やクールジャパンとして、海外の方々に評価されている。これこそまさに「日本風イノベーション」といえるものである。私はわが国のこのようなあり方に期待する。とりわけ2021年の東京オリンピック・パラリンピックから2025年の大阪・関西万博にかけては様相の変化を傍観しているだけでなく、歯科界も積極的に関与していかなければならないと思う。わが国の多様性の原点を見つめ、世界の動向に応じた対応が必要である。歯科界だけで解決するのではなく、他分野とのオープンイノベーションのもとに物事を具現化していく行程表を示すことである。

Ⅲ. 日本歯科医学会が目指すもの

日本歯科医学会としてまずは2021年に開催する第24回日本歯科医学会学術大会をキックオフとする。この

歯科界最大の学術大会を通し、歯科界を活性化することを目標に新しい形の大会を企画する。

歯科界はこれまで、それぞれが真摯に努力してきたが、その努力が報われたという達成感に恵まれなかったどころか、マイナスのイメージを生み出している。これまでの戦略ではブレイクスルーは起こらないということである。そこで、大会テーマを「逆転の発想 歯科界2040年への挑戦」とした。「逆転の発想」は、発想の転換やパラダイムシフトのレベルよりももっと大きな挑戦を意味する。従来思いもよらない構想、時には非常識ともいえる大胆な行動、人を動かすカリスマ性などさまざまな戦略である。それらを駆使して「元気な歯科界」を創生し、その活力をもって社会貢献を行っていきたい。

具体的には、学会の重点研究委員会で作成し発出された「歯科イノベーションロードマップ」を武器とし、2040年に向けて、「未来社会の必要に応える」という姿勢を示し行動する²⁾。

Ⅳ. おわりに

現在、世界中の国々が新型コロナウイルスの感染拡大で大変な状況になっている。これへの対応はSDGsの目標であることは明らかである。世界的なこの危機には、17すべての目標にとり組む必要を感じる。まさに多様性をもった戦いである。歯科医療・歯科医学は治療分野よりは、このようなパンデミックを防ぐ予防面での貢献が期待できる。

参考文献

- 1) 松木喬(日刊工業新聞社 編集委員): Special Contents 江戸時代と2030年, サステナブルでつながる未来へのヒント, HITACHI Inspire the Next, 2019. <https://social-innovation.hitachi/ja-jp/sustainability/>
- 2) 特別企画・座談会 2040年への歯科イノベーションロードマップ PART.1, 日本歯科医学会誌, 39, 5-31, 2020. https://www.jads.jp/jjads_j/jjads_j_39.pdf

Bringing the Concept of Diversity into the Field of Dentistry for Further Innovation

Masahito SUMITOMO

President, Japanese Association for Dental Science

A direct translation into Japanese of the term “diversity” is “tayosei,” which goes no further than the general meaning of “a variety, or different races.” However this “tayosei” is expanding to encompass a wider range today, including not just races, but respect as individual peoples, and at the same time, respect for other peoples. In other words, rather than a simple collection of races, it treats the various sensibilities, wisdom, skills, and so on each people possesses as things to bring together within our lifestyles. Moreover, instead of just respecting the unique culture of each people, it can be seen as fusing these to create a new culture. The SDGs that are the focus of so much attention these days can be seen as presenting a specific direction for this. To that end, flora, fauna and other life, and the environments they live in, natural phenomena and even outer space all need to be considered. This is the single greatest project for ensuring the survival of the Earth.

Looking again at the world of dentistry, we are seeing increasing links with other fields, but it seems to me that in order to become more diverse, we need a perspective and understanding that encompasses 360 degrees, and an unexpected “brand new take.”

Key words : Diversity, SDGs, Brand New Take, Dental Innovation